

事務事業チェックシート

事務事業No 516 事業名 雨水ポンプ場運転管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組方針	3	土砂災害・水害の予防対策の推進

事業種別	
事業期間	～
事業実施の根拠法令	
関連個別計画	
担当課・担当課長・Tel	河川港湾課 角田 憲彦 435-1090
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		下水道費	
	目		下水道施設管理費	
	大事業		下水道施設管理事業	
中事業		ポンプ場運転管理事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 地域住民の浸水被害への対策として設置したポンプ場の管理事業		全体事業概要 ポンプ場の運転管理全般 (ポンプ場 35ヶ所) 大雨時 - 運転管理業務 平常時 - 機械設備の運転確認(点検、清掃等)				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
雨水ポンプ場の維持管理		雨水ポンプ場の維持管理	雨水ポンプ場の維持管理	雨水ポンプ場の維持管理	雨水ポンプ場の維持管理		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	103,584	97,355	119,271	108,709	109,179	110,181	98,619	98,619	98,619	
伸び率(%)	-	-	15.1%	11.7%	▲8.5%	1.4%	▲9.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	20,801	17,652	20,801	20,596	19,604	21,922	12,443	12,443	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	1,910	1,910	
	小計	20,801	17,652	20,801	20,596	19,604	21,922	14,353	14,353	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	103,584	97,355	119,271	108,709	109,179	110,181	98,619	98,619	98,619	
所要人数(人)	正規職員	2.80	2.37	2.80	2.59	2.47	2.76	1.56	1.56	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.76	0.76	
主な予算内訳	管理委託料 70,212千円		機械修繕料 8,686千円		光熱水費 16,043千円					

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 雨水ポンプ場管理箇所	か所	目標値	35	35	36	36	36
		実績値	35	35	35		
		達成度(%)					
活動指標 雨水ポンプ場の点検回数	回	目標値	1,690	1,687	1,699	1,699	1,699
		実績値	1,690	1,687	1,687		
		達成度(%)					
成果指標 雨水ポンプ場修繕箇所	件	目標値					
		実績値	18	12	11		
		達成度(%)					
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	近年激増しているゲリラ豪雨への対策として、当事業の充実は不可欠である。
見直し・改善内容	浸水被害解消のために新設されるポンプ場の管理や老朽化したポンプ施設の改修など、事業の充実を図るためにはコスト拡大は避けられない。